

**山梨県歯科医師連盟****連盟ニュース 第72号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手1-4-1

TEL: 055-252-6481 FAX: 055-253-0854

□発行人 一瀬 明 HP: <http://ydpf.jp>

□編集人 一瀬 明・馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

**年頭所感**

新年あけましておめでとうございます。昨年は、7月に参議院議員選挙があり、会員の皆様のご協力により、組織代表の山田 宏 候補は前回よりも得票数を増やして2回目の当選を果たすことができました。自民党の比例代表の候補者が票を減らす中で、一番得票数を増やすことができました。これは、私達連盟の活動が実を結んだ結果だと言えるでしょう。

これからも連盟の活動を通じて歯科医療の重要性を訴え、理解を得る努力を続けていかなければ歯科医療費は削減されていき不当といえる指導や監査によって会員の生活は、苦しくなるばかりです。

私達の活動にご理解を深めて頂き、今後もお支援、ご協力をお願い致します。 [記 会長：一瀬]

**2022年度 関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会懇談会**

2022年度 関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会懇談会が11月12日(土)に日本歯科医師会館会議室で行われました。本県からは、会長：一瀬 明、副会長：原 俊、鶴田好幸、理事長：篠原昭夫が出席しました。来賓には、日本歯科医師連盟から会長：高橋英登先生、理事長：浦田健二先生、顧問・参議院議員：山田 宏先生が出席されました。

2022年度関東地区歯科医師連盟要望書について報告があり、協議にうつりました。7月の参議院議員選挙の反省点について、各県から意見があり、次回の参議院議員選挙の対応についても意見が出されました。

協議会の後、懇談会にうつり、久しぶりに顔を合わせて話をすることができました。山田議員、比嘉議員も参加され、有意義な時間を過ごすことができました。 [記 会長：一瀬]

**日本歯科医師連盟主催『第4回政治セミナー』**

平素より本連盟活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年12月2日(金)に日本歯科医師連盟主催『第4回政治セミナー』が東京ベルサール九段にて開催され、本連盟から、一瀬会長、篠原理事長が出席しました。このセミナーは、連盟会員の皆様に政治との関わり方を理解していただき、今後の連盟の在り方を検討し、必要な人材を確保していく事を目的としています。

今回、講演者として、政治ジャーナリスト：田崎史郎氏、自由民主党副総裁、元内閣総理大臣：麻生太郎氏、参議院幹事長代行：丸川珠代氏の3名とランチョンセミナーとして参議院議員：山田宏氏が講演されました。又、第3回政治セミナーにて、講演頂き、今般の参議院議員選挙にて凶弾により亡くなられた安倍晋三元総理の遺影が会場に設けられ、講演に先立ち参加者全員にて黙祷が行われました。

さて、田崎史郎氏は、岸田政権は今後どうなるかと題して、この内閣は現閣僚の辞任が相次いだ、今後大きな選挙が無いので、安定した運営が2、3年はできるのではないかと講演されました。

昼食のランチョンセミナーでは、山田宏参議院議員が皆様から頂いた今後6年間の任期中に2025問題、国民皆歯科健診の実現に向けてとさまざまな諸問題に取り組んでいき、歯科界における正当な評価と診療報酬を実現させるため歯科医師ではない自分が頑張っていきたいと決意を述べました。

午後からは、麻生太郎氏がウクライナの状況や世界における日本の政権について、日本は他国の政権に比べて自由民主党が衆参両議院において安定多数を維持しており、政権運営がスムーズに行われ法案が通りやすい状況にあり、アメリカやヨーロッパにおける不安定な政権状態にない事を講演されました。

最後に丸川珠代氏からは、本人が務めた東京オリンピック・パラリンピック競技担当大臣時代に歯科界の皆様方に大変お世話になった事の一例として、選手村に設営した歯科診療所において、各国の選手が夜遅くまで練習をしていて、口腔内外傷をとまった選手が来院した際に、口腔外科、歯内療法の専門医が適切な対応・治療を行い、その結果、翌日の試合に間に合った事例にて、日本の歯科医療の水準の高さを各国にアピールできた事、又、凶弾に倒れた安倍晋三元総理について、参議院議員選挙中、候補者の応援に帯同した際の安倍先生の人柄についてと小池東京都知事とのオリンピック・パラリンピック時の問題の取り組み方について議論した事などを述べました。

講演会終了後に懇談会が行われ、高市早苗内閣府特命担当大臣、三ッ林裕巳厚生労働委員長、古屋圭司衆議院議員が出席され、歯科界の諸問題について意見交換をして、歯科界の政策の実現・発展のため、今後協力していきたいと挨拶されました。 [記 理事長：篠原]